

## 岩手県における地上デジタル放送推進に向けた取り組み強化活動（詳細版）

### <周知広報関係>

#### 【施策1】 共同スポット放送等の周知広報活動の強化

##### (1) 岩手版地デジ化テストの実施 （新規）

本年7月24日、岩手県内向けにNHK及び民放各社で一斉に実施した「アナログ終了告知スポット放送（地デジカテスト）」について、今後、各放送局の実情に応じて地デジカテストを随時放送することを具体化する。

- ・ 岩手版一斉地デジ化テスト：第1回目 8月30日（月） 18:58:00～18:59:00
- ・ アナログ放送終了スポット（アナログ放送独自放送）：NHKで放送中

##### (2) 地デジ大使の各局ワイド訪問の実施 （新規）

各局の地デジ大使が揃って各局の情報番組に出演し、周知広報活動を展開する。

（参考）

8月2日（月）	16:25～	TVI	「5きげんテレビ」さんさ・地デジPR隊生出演？
8月21日（土）	9:25～	IBC	「じゃじゃじゃTV」各局地デジ大使大集合
9月（平日）	11:30～	NHK	「ひるっこいわて」
10月（金）	17:00～	IAT	「ラクティマプラス！！」
11月（土）	12:00～	mit	「あなろぐ an@log」

##### (3) 共同スポット放送等の周知広報活動の強化 （拡充）

###### ア. アナログ終了に関するスポット放送の強化と継続

NHKで、アナログ放送終了スポット放送（アナログ放送独自）を放送中

###### イ. 「教えて！地デジ大使」の継続

ウ. デジタル中継局開局情報をスポットやニュースで随時放送

###### エ. アナログ終了告知スーパーの強化 （新規）

7月から地域放送でアナログ終了告知スーパー実施中（NHK）

9月からアナログ終了告知スーパーの常時表示を検討中（実施可能な放送局）

###### オ. NHK・民放共同制作のPR番組の検討

#### 【施策2】 イベント等を通じたアナログ放送終了の周知徹底

##### (1) アナログ放送終了カウントダウンイベントの開催 （拡充）

1年前、300日前、デジタルの日などの機会を利用して、関係団体と協力しアナログ放送終了カウントダウンイベントを実施する。

###### ア. 1年前「日本全国地デジカ大作戦inいわて」（実施済）

日時： 7月23日（金） 岩手県知事表敬訪問

内容： 東北総合通信局長、地デジ大使が知事を訪問し地デジ普及への協力を要請

日時： 8月2日(月) 盛岡さんさ踊りで地デジPRパレード

内容： 東北総合通信局長、NHK局長、民放局社長、地デシ大使、デジサポ  
岩手 他

イ. 300日前「日本全国“地デジで元気”in 岩泉」

日時： 9月26日(日)

場所： 道の駅いわいずみ

内容： 地デジ大使、地デジ元気娘、地デジカ、芸人(ザ・たち)によるショー

ウ. 12月1日「デジタル放送の日」イベント(検討中)

(2) 地デジ低普及地区でのイベント (拡充)

ア. 7月24日(土)～25日(日) 久慈みなと夏まつり(久慈市:もぐらんぴあ周辺)  
(実施済)

イ. 8月16日(月) 納涼花火大会(久慈市:久慈川上の橋付近)

ウ. 9月17日(金)～19日(日) 久慈秋まつり(久慈市:中心部)

エ. 10月16日(土)、17日(日) 久慈地区産業まつり(久慈市:久慈アンバーホール)

(3) 「地デジカ列車」の常時運行 (継続)

地上デジタル放送の普及が遅れている三陸沿岸について、三陸鉄道北リアス線(宮古～久慈間)に、「2011年7月アナログ放送終了」のシールをラッピングした「地デジカ列車(2両)」を運行するとともに、鉄道会社の協力を得て、利用者へ「2011年7月アナログ放送終了」の印刷物を配布する。

・ 運行期間:平成22年3月11日～アナログ放送終了まで

**【施策3】 地方公共団体による周知広報活動の強化 (拡充)**

岩手県や各市町村の広報誌等を通じて、デジタル中継局の開局情報の掲載とデジタル放送への移行を促す記事の掲載を依頼する。また、市町村の防災無線などを活用した周知広報の実施について要請する。

《岩手県》

全世帯配布の岩手県広報誌「いわてグラフ」7月号に、漫画による地デジPRとして「地デジ化の巻」を掲載した。(発行部数:約52万部)

デジサポが制作する周知広報リーフレット『地デジ受信なぜ?なに?ガイド』を各市町村を通して地域の回覧板を活用して配布する。(配布予定枚数:5万部)

岩手県庁前の広告塔(電光表示)により、8月2日(月)から来年7月まで周知広報を実施する。

《久慈市》

8月7日から来年3月まで、久慈市の行政防災無線を活用し、隔週土曜日の12時30分から地デジPRを実施予定。

## <受信普及促進関係>

### 【施策4】「地デジちよい見せ活動」を中心とした受信機の普及促進活動

#### (1) 地デジ普及キャラバン活動の展開（継続）

岩手県電機商業組合等家電流通業界やデジサポ岩手、自治体と連携し、「地デジちよい見せ活動」等の普及促進活動や説明会、受信相談活動を実施する。

また、受信普及が遅れている地域や受信課題地区等を中心に地デジ普及キャンペーン活動を展開し、受信普及を推進するとともに、デジサポ岩手の高齢者等訪問活動（地デジサポーター）と連携した活動を実施する。

#### (2) 低普及地域における普及率up活動（拡充）

久慈地区では、久慈局、久慈大川目局ともにデジタル放送の送信場所が変わったことから、他地区よりも普及が進みにくい課題があるため、継続して重点的に普及活動を実施する。

- ア. 地域電器店、電機工事店等と連携した地デジアンテナ設置の推進
- イ. 地元自治体と連携した地デジアンテナの実態調査
- ウ. 地デジアンテナ設置推進に向けた相談活動の充実
- エ. 行政防災無線を活用した地デジPR

#### (3) デジタル中継局開局と連動した普及促進活動（継続）

デジタル中継局の試験電波発射及び放送開始日に合わせて、放送や自治体広報誌、新聞折り込み、のぼり旗等で周知するとともに、家電流通業界と連携し、「地デジちよい見せ活動」や「地上デジタル放送の受信テスト」を実施する。

また、地上デジタル放送の詳細な受信状況調査結果について、地域電器店等を対象に事前説明会を開催する。

#### (4) 電器店店頭での周知ポスター・のぼり旗の掲示徹底（継続）

地デジの受信可能エリア図や受信方法説明パネルを店頭に展示してもらうとともに、アナログ終了のぼり旗の掲示を依頼する。

### 【施策5】共同受信施設のデジタル化対応促進

#### (1) 共同受信施設のデジタル化改修等の加速（拡充）

CATV技術協会等の施工業界と情報交換をさらに密にして、国の補助事業及びNHK技術支援策を活用した既設共同受信施設のデジタル化改修を加速する。

また、新たな難視地区での共同受信施設の新設、高性能アンテナ対策等、国の補助事業及びNHK技術支援策を活用したデジタル化対策を、関係団体と協力して円滑な対策を実施する。

(2) 集合住宅への対応強化 (拡充)

集合住宅の地デジ対応状況の情報を収集し、未導入施設に対するデジサポ岩手の管理者訪問活動を支援する。

また、デジサポ岩手や施工業界と連携し、施設所有者や管理者等に対して「設備点検カルテを活用した具体的な設備改修提案」を実施し、デジタル化を勧奨する。さらに、入居者に対する地デジ受信の周知徹底を行う。

(3) 障害対策共聴への対応強化 (拡充)

デジサポ岩手が障害対策共聴地区で実施する、個別受信促進対策(エリア対策)の相談会に協力する。

- ・ 個別受信促進対策(エリア対策)実施予定:盛岡市(8月~9月)、北上市(9月)

また、デジサポ岩手の地デジ個別受信の可否調査や施設管理者対応に協力し、デジタル移行を促進する。

(4) ホテル・旅館等への対応強化 (継続)

ホテル・旅館における効果的な地デジ対応を促進するため、旅館ホテル生活衛生同業組合やCATV技術協会、電気工事組合等の関連業界と連携して設備点検活動を実施し、「設備点検カルテ」による詳細な設備実態・改修提案を実施する。

**【施策6】 ケーブルテレビへの加入促進活動等**

ケーブルテレビ事業者(自治体運営含む)と連携し、地域の受信実態に応じた「ケーブルテレビ加入促進キャンペーン」を実施する。

(1) 自治体がICT交付金事業により新たに設置するケーブルテレビへの対応 (新規)

デジタル難視等を解消するため、自治体がICT交付金事業等で新たにケーブルテレビを設置する地区では、自治体と連携して、対象地域全域の加入促進の徹底を図る。

- ・ 新たにケーブルテレビを設置する自治体:釜石市、葛巻町、藤沢町、軽米町、大槌町

(2) 電波障害対策共聴地区 (新規)

建造物等による電波障害で、個別アンテナによる受信が困難な地区ではケーブルテレビ加入による対策が有効である。条件が整った地区では、ケーブルテレビへの加入促進対策を実施する。

(3) 新たな難視地区 (新規)

ケーブルテレビ加入による対策が有効な地区においては、国の助成制度を活用し、関係団体と協力して新たな難視地区でケーブルテレビへの加入を促進する。

(4) テレビ都南(盛岡市)への対応 (新規)

テレビ都南は、アナログ終了後にケーブルテレビを廃止することが決定しており、アンテ

ナによる個別受信への切り替えを行っている。個別受信への切り替えが円滑に進むよう情報交換を密にするとともに対策に協力する。

#### 【施策7】家電流通業界開催の商談会等への協力（継続）

ボーナス商戦（12月、6月）と連動し、家電流通業界が開催する商談会等に全面的に協力し、地上デジタル放送の普及促進を図る。

アナログ終了間際になると、デジタル受信機の供給の不足やアンテナ工事が間に合わないことが懸念されるため、流通業界、電器店、電気工事店等と連携して、早めのデジタル移行を促進する。

#### 【施策8】「受信料全額免除世帯へのチューナー配布」への支援実施（継続）

地上デジタル放送の受信状況や共聴施設のデジタル化改修状況について、地デジチューナー支援実施センターと情報を共有し、対象者に無料配布の情報が行き渡るよう様々な機会を捉えて周知広報に取り組み、チューナー配布の完全実施に向けた支援を実施する。

### <送受信ネットワーク整備関係>

#### 【施策9】デジタル中継局等の確実な整備

##### （1）デジタル中継局等の確実な整備（継続）

中継局ロードマップに従い、平成22年12月までに、予定しているデジタル中継局22局を確実に開局し、電波による世帯カバー率88%を確保する。

また、自治体が新たに設置するケーブルテレビ、共同受信施設の新規整備及びデジタル化改修を促進し、中継局整備と合わせて既存アナログ視聴世帯の視聴を確保する。

##### （2）ケーブルテレビ移行視聴者への対応（新規）

中継局ロードマップにおいて、中継局を設置せず「共聴・ケーブル」とした地区については、岩手県及び関係自治体などの関係機関と連携しながら、地上デジタル放送の受信できる環境への移行を推進する。

#### 【施策10】新たな難視地区への対応（拡充）

新たな難視地区を把握するとともに、難視解消のための対策計画を策定し、地元関係者と連携して対策計画に基づく対策の円滑な実施を推進する。

また、対策がアナログ終了まで完了できない地区では、当面、暫定衛星視聴による対策を推進するが、恒久的な受信対策について検討を並行して行う。

##### （1）新たな難視地区の把握と難視対策計画の策定

視聴者や自治体からの情報をもとにデジサポ岩手による受信状況調査を速やかに実施し、新たな難視地区を把握するとともに、協議会で対策計画を策定する。

(2) 自治体および地元住民への説明会等の実施

新たな難視地区対策計画について、自治体担当者に説明し協議するとともに、放送事業者が分担して地域住民への説明会を開催する。

新たな難視地区に対しては、市町村と協力して丁寧な説明を実施し、共聴施設の新設や高性能アンテナ対策等による受信対策、ケーブルテレビ等への加入など、国の補助制度を活用した円滑な対策の推進を図る。

(3) 暫定的難視聴対策事業への支援

社団法人デジタル放送推進協会(総務省地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター)の対策が円滑に進むよう情報交換を実施し、円滑な対策に向けて支援を実施する。

**【施策11】 デジタル放送用周波数再編「リパック」への対応 (新規)**

アナログ終了後に放送用周波数再編が予定されている一関市地区などについて、中継局設備の改修などの技術的な検討を進める。

また、受信チャンネルが変更になることから、地上デジタル放送が一時的に受信できなくなるなどの混乱を起こさないようにするため、周知広報部会及び受信普及促進部会と連携して、受信チャンネル変更の周知方法等、円滑な受信チャンネル変更対策について検討する。